



薪割・焚き火(薪ストーブ)体験



1 活動のねらい

曲り家周辺で薪を割り、焚き火(薪ストーブ)を行うことで、昔の生活様式や火の魅力を味わいます。また、火を囲んで簡単な調理をしたり、静かに語り合ったりしてコミュニケーションを深めます。

2 活動の概要

薪割・焚き火(薪ストーブ)を通し火を使うことを体験します。
焚き火を使った焼き芋、焼きマシュマロ等の調理体験をすることも可能です。



3 人数・時間・場所

- (1) **人数** 48名以内(1班4人程度)※薪ストーブ(1台)は少人数での活動となります
- (2) **対象** 年齢は問いません。
- (3) **期間** 通年(薪ストーブは冬季10月～3月)
- (4) **時間** 1時間～2時間
※調理体験を追加する場合は、調理の時間がかかります。
- (5) **場所** 曲り家及び曲り家野外炊事場
- (6) **料金** 宿泊での利用料金(1人) 200円(薪含)



※施設使用料に野外炊事場使用料も含まれています

日帰りでの利用料金(1人) 300円(活動料200円薪含・野外炊事場使用料100円)

4 準備する物

区 分	内 容	備 考
団体	・野外にふさわしい服装 ・軍手	※焼き芋、焼きマシュマロ等の調理体験をする場合は、食材やアルミホイル・串・食器等の調理用具等を団体で持参してください。
交流の家	・焚き火台、もしくはドラム缶コンロ ・薪・薪割り台・火ばさみ・ほうき・十能 ・薪ストーブ(曲り家備え付け1台)	活動する班の数をお知らせください。 (焚き火台や薪の準備のため)

5 引率者の役割

係 名	人 数	役 割
代表責任者	1～2名	・全体の総括、指揮、安全管理、連絡、用具の返却

6 交流の家職員の役割

- ・ 物品等の貸し出しを行います。
- ・ 活動前に用具の取り扱いについて安全指導・全体説明を行います。

7 活動の流れ

活動の流れ	内 容
物品借用 説明	・ 焚き火台・火ばさみ・ほうき・十能・薪ストーブなどの貸出 ・ 道具・設備の使用、安全管理等について全体説明(交流の家)
活動	・ 焚き火台の組み立て・薪割・薪組み・着火・焚き火・消火 ※調理体験は団体自主活動で実施
活動終了	・ 灰の始末・焚き火台は水拭きして、ケースに入れて返却 ・ 活動場所の清掃・ゴミの始末 ・ 物品の返却、終了報告

薪割・焚き火



8 実施及び安全管理上の留意点

- (1) 焚き火後は灰になるまで燃やし、完全に消火したことを確認して灰入れドラム缶に入れてください。
- (2) 調理体験を追加する場合は時間にゆとりをもって計画してください。
- (3) 強風(風速3m/s以上)または雨天の場合、野外炊事場のかまどに変更をお願いします。
- (4) 雷活動度が2以上のとき、風速5m/s以上のときは中断・中止とします。また、熱中症アラートが出ている場合は、身の回りの暑さ指数(WBGT)を確認して中止・休憩等の判断をお願いします。